

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公開番号】特開2014-99337(P2014-99337A)

【公開日】平成26年5月29日(2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-028

【出願番号】特願2012-250801(P2012-250801)

【国際特許分類】

F 21 V 23/00 (2015.01)

F 21 K 9/00 (2016.01)

F 21 S 2/00 (2016.01)

F 21 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 21 V 23/00 1 1 5

F 21 S 2/00 2 1 9

F 21 S 2/00 2 1 5

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月11日(2015.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

LED素子が実装されたLED基板と、

前記LED素子を点灯制御する点灯回路基板と、

前記点灯回路基板を収納するとともに前記LED基板を表面部に設けた筐体と、

前記筐体の表面部の前記LED素子からの光が出射される方向を覆う透光性カバー、とを備えたLEDランプであって、

前記LED基板に対して、前記LED素子からの光が出射される側にセンサ基板を有し

前記センサ基板は、前記透光性カバーに固定されている、LEDランプ。

【請求項2】

前記透光性カバーの内側に前記センサ基板を収容する収容部を有する、請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項3】

前記センサ基板は、前記透光性カバーの一部であって取外し可能に設けられたセンサ用透光性カバーで覆われており、該センサ用透光性カバーの底面部に取り付けられている、請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項4】

前記センサ基板と、前記点灯回路基板とは、コネクタを介して結合されており、前記コネクタが結合されたときに、前記センサによるセンサスイッチモードが開始され、前記コネクタが離脱したときに、前記センサスイッチモードから手動スイッチモードに切り替わるスイッチ切り替え制御手段を有している、請求項1～3のいずれか1項に記載のLEDランプ。

【請求項5】

前記スイッチ切り替え制御手段は、前記センサ基板から前記点灯回路基板へ送信される検知信号の変化から、前記コネクタの結合を判定する回路と、人の存在を判定する回路を有しており、

前記検知信号の大きさが、前記コネクタが結合しているときに発する信号よりも大きい値である第1の設定値以下であれば前記コネクタが離脱していると判定し、人の動きを検知することが可能に設定された第2の設定値以上であれば人が存在すると判定する、請求項4に記載のLEDランプ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係るLEDランプは、LED素子が実装されたLED基板と、LED素子を点灯制御する点灯回路基板と、点灯回路基板を収納するとともにLED基板を表面部に設けた筐体と、筐体の表面部のLED素子からの光が出射される方向を覆う透光性カバー、とを備えたLEDランプであって、LED基板に対して、LED素子からの光が出射される側にセンサ基板を有し、センサ基板は、透光性カバーに固定されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、透光性カバーの内側にセンサ基板を収容する収容部を有してもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

そして、センサ基板は、透光性カバーの一部であって取外し可能に設けられたセンサ用透光性カバーで覆われており、該センサ用透光性カバーの底面部に取り付けられていてよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

そしてまた、センサ基板と、点灯回路基板とは、コネクタを介して結合されており、コネクタが結合されたときに、センサによるセンサスイッチモードが開始され、コネクタが離脱したときに、センサスイッチモードから手動スイッチモードに切り替わるスイッチ切り替え制御手段を有していてよい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

さらに、スイッチ切り替え制御手段は、センサ基板から点灯回路基板へ送信される検知信号の変化から、コネクタの結合を判定する回路と、人の存在を判定する回路を有しており、検知信号の大きさが、コネクタが結合しているときに発する信号よりも大きい値である第1の設定値以下であればコネクタが離脱していると判定し、人の動きを検知することが可能に設定された第2の設定値以上であれば人が存在すると判定してもよい。